



パッケージサラダに使用するトレーを軽量化 サラダクラブ全工場でプラスチック使用量を削減

～年間約40tのプラスチック使用量削減を実現～

株式会社サラダクラブ

株式会社サラダクラブ（代表取締役社長：金子俊浩、本社：東京都調布市）は、パッケージサラダに使用するトレーのプラスチック使用量削減を、全工場^{※1}で完了しました。

※1 直営7工場（五霞・中河原・遠州・伊丹・真庭・三原・鳥栖）の他、委託工場を含む。

サラダクラブでは、キューピーグループの経営方針に則り、「社会・地球環境への貢献」というスローガンのもと、サステナビリティに関する取り組みを強化しています。エネルギー削減として、工場での製造工程における電力削減や水使用量削減、トレーの軽量化・フィルムの規格変更によるプラスチック使用量削減を進めています。

プラスチック製のトレーは、1人前の食べ切りサイズ「Select SALAD」シリーズなど、全12種類^{※2}のパッケージサラダに使用しています。

※2 2022年1月20日時点。

今回、従来品と比較して、約10%軽量化したトレーを全工場^{※1}で導入したことにより、年間約40tのプラスチック使用量削減を実現しました^{※3}。

※3 2021年度製品製造量より算出（一部商品を除く）。

サラダクラブでは、今後もパッケージサラダに使用するプラスチックをはじめとするエネルギー削減に取り組んでまいります。



<軽量化したトレーを使用する商品（一部）>

【対象商品】

シリーズ名	シリーズ概要	URL
「Select SALAD」 シリーズ	1人前の食べ切りサイズ	https://www.saladclub.jp/products/tray1.html
「中容量サラダ」 シリーズ	ランチに便利な食べきりサイズ	https://www.saladclub.jp/products/tray3.html
「1/2日分の野菜がとれる」 シリーズ	厚生労働省が推奨する1日の野菜摂取量(350g) ^{※4} の1/2(175g)を摂ることができる大容量パック	https://www.saladclub.jp/products/tray6.html

※4 厚生労働省「健康日本21」より。

■株式会社サラダクラブについて

株式会社サラダクラブは、野菜の鮮度とおいしさにこだわり、洗わずにそのまま食べられる「パッケージサラダ」を製造・販売しています。キューピー株式会社と三菱商事株式会社の共同出資により1999年に設立しました。利便性と価格が一定という経済性が評価され需要が拡大しているパッケージサラダ市場で、サラダクラブは国内最大のシェア(金額)*を占め、販売店舗数は16,030店(2020年11月現在)となっています。

* マクロミルQPR(サラダメーカー別 2020年1月-2020年12月)

■サステナビリティへの取り組み

当社では、産地からご家庭までのフードロスを低減し、サステナビリティへの取り組みを推進しています。産地との安定的な取引や増量企画を通じた、持続的な生産体制の維持や産地廃棄の削減。工場内で発生した野菜の未利用部を肥料の材料にし、それをもとに作られた肥料を使用して野菜の栽培を行う循環型農業の実現。パッケージサラダの鮮度保持延長の実現により、ご家庭・販売店での消費期限切れに伴う廃棄の低減などの取り組みを行っています*。

* 詳細はサステナビリティページ(<https://www.saladclub.jp/company/sustainability/>)をご参照ください。

＜本件に関する問い合わせ先＞

株式会社サラダクラブ 広報・広告宣伝部 吉田・鳥塚・伊豆野

TEL. 03-5384-7690(直通) FAX. 03-5384-7805

〒182-0002 東京都調布市仙川町2-5-7

<https://www.saladclub.jp> E-mail. info@saladclub.jp

＜お客様からの問い合わせ先＞

お客様相談室 TEL. 0120-662-831